

福島復興大型石炭ガス化複合発電設備の実証計画(勿来)に係る
環境影響評価書の確定通知の受領について

2016年9月2日
常磐共同火力株式会社

当社は、東京電力ホールディングス株式会社と50万kW級の世界最新鋭の高効率石炭火力発電所（IGCC）の建設・運転プロジェクトに係る環境影響評価を共同で取りまとめた「福島復興大型石炭ガス化複合発電設備実証計画（勿来）環境影響評価書^{*1}」（以下「評価書」）について、本日、経済産業大臣より確定通知を受領いたしました。

このたびの確定通知は、本年8月25日に電気事業法に基づき経済産業大臣へ、東京電力ホールディングス株式会社と共同で届出を行い審査していただいていた評価書について、適正な内容であるとの通知をいただいたものです。これを受け、本年9月16日に東京電力ホールディングス株式会社とともに福島県知事、いわき市長へ評価書を送付いたします。

なお、本評価書につきましては、環境影響評価法に基づき、関係する行政機関において縦覧するとともに、東京電力ホールディングス株式会社ホームページにて公表いたします。

当社は、本プロジェクトを通じて、浜通り地区における経済再生^{*2}を後押しするとともに、福島県およびいわき市がクリーンコール分野で世界をけん引していく拠点になることを目指しております。

今後は、本体工事に向けて、準備工事に着手（本年10月予定）するための諸調整を進めるなど、国、福島県およびいわき市等のご協力やご支援を賜りながら、引き続き、本プロジェクトを着実に推進してまいります。

*1 当社勿来発電所隣接地に、世界最新鋭の大型石炭ガス化複合発電設備（IGCC）を導入するために必要な環境影響評価法及び関係省令に基づく手続きであり、全4段階の手続きのうち最後の手続きに該当

*2 建設最盛期には1日あたり最大2,000人規模（勿来、広野地点を合わせて）の雇用を創出し、環境アセス着手から運用を含めた数十年間で、福島県内に総額800億円の経済波及効果と試算

<事業の内容：勿来地点>

名 称：福島復興大型石炭ガス化複合発電設備実証計画（勿来）
原動力の種類：ガスタービン及び汽力（コンバインドサイクル発電方式）
出力：54万kW
燃料：石炭
運転開始時期：2020年9月（予定）
位 置：福島県いわき市佐糠町、岩間町、小浜町、仁井田町、錦町
（勿来発電所構内、その隣接地、取放水設備及び配管等）

<別 紙>「環境影響評価書」の縦覧について

<参 考> 環境影響評価の手続き

※プロジェクトの環境影響評価手続きについては、東京電力ホールディングス株式会社のホームページに掲載しております。

(http://www.tepco.co.jp/fukushima_hq/reconstruction/igcc2-j.html)

以 上

(問い合わせ先)

常磐共同火力株式会社

本 社 総務部長 正木 良成 TEL03-3256-5411（代表）

「環境影響評価書」の縦覧について

1. 「環境影響評価書」の縦覧

(1) 縦覧期間

2016年9月16日(金)から2016年10月17日(月)まで(土日祝日を除く)

(2) 縦覧時間

午前8時30分から午後5時15分まで

(3) 縦覧場所

【勿来地点】

- ①福島県庁 生活環境部環境共生課 [福島県福島市杉妻町2-16 西庁舎8階]
- ②いわき市役所 本庁舎 1階市民ロビー [福島県いわき市平字梅本21]
- ③いわき市 勿来支所庁舎 1階エントランス [福島県いわき市錦町大島1]

2. インターネットによる公表

東京電力ホールディングス株式会社のホームページにおいて、2016年9月16日(金)から2016年10月17日(月)まで評価書をご覧いただけます。

【勿来地点】

掲載URL : http://www.tepco.co.jp/fukushima_hq/reconstruction/igcc2-2-j.html

3. お問い合わせ先

東京電力ホールディングス株式会社
立地地域部 福島復興電源担当

電話(代表) : 03-6373-1111 (土日祝日を除く、午前9時から午後5時まで)

以 上

環境影響評価の手続き

